

テラヘルツ波の3大特徴

生命水のエネルギーを高める。… 細胞の活性化
タンパク質・アミノ酸・酵素・血液等の生命物質に。

毎秒1兆回の振動により、… 血行促進
悪玉コレステロール・活性酸素を分解。

毎秒1兆回の振動により、… 生体電流を整える。
自律神経のバランス … 気の流れ

水はテラヘルツ波を最も良く吸収する物質

生体にテラヘルツ波を照射させると、生体内の水が吸収し、水に溶解又は浮遊しているタンパク質、アミノ酸、酵素、血液等の生命媒体にそのテラヘルツ波エネルギーが伝わります。テラヘルツ波を吸収した水や生命抗生物質は、抗酸化作用（老化、腐敗の抑制、生体の損傷の回復、免疫力の回復、生活習慣病の予防等）により生体全体の生命力を高めます。

テラヘルツ波により期待できる体感

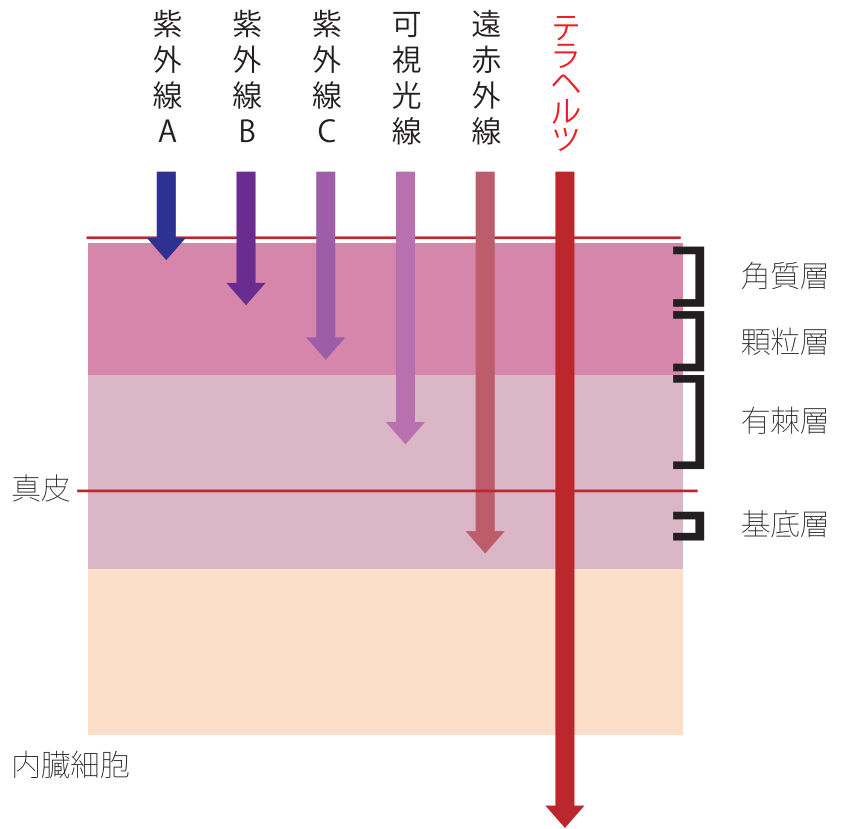
- 全身の血行の増加
- 肩こり、腰痛、筋肉のコリの解消
- 抗酸化力の向上
- 生活習慣病の予防
- ストレスや疲れの改善
- 新陳代謝の強化
- 自律神経の機能調整

テラヘルツ波は生命活性光線

宇宙や月から来るといわれるテラヘルツ波は、生命活性光線ともいわれ生体や細胞を活性化させて生命力を維持し高めると言われています。植物の種子は、月の光で発芽が促進されます。

テラヘルツ波と遠赤外線の違い

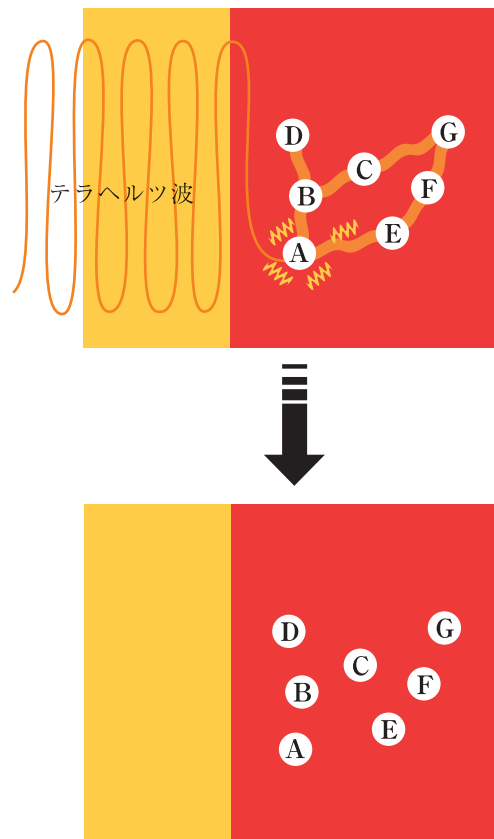
吸収波長である遠赤外線は物質の表面を構成している分子の振動に吸収される為、熱の伝導であり内部までは浸透しません。透過波長であるテラヘルツ波は波長が大きく、電波のように物質への通過浸透性・透過性に優れ、全身へのプラスの影響が期待できます。



クラスター分解

● 血液中の老廃物をクリスタル化

たんぱく質や脂質など、物質ごとに共振させる特徴があるため、悪玉コレステロールや活性酸素などをクリスタルのように細かく分解し、サラサラの状態します。そうすることにより、血管への付着を防ぎ、血流の流れを良くし、肌を活性化させます。また、細かく分解したことで燃焼や浄化処理を促進させます。

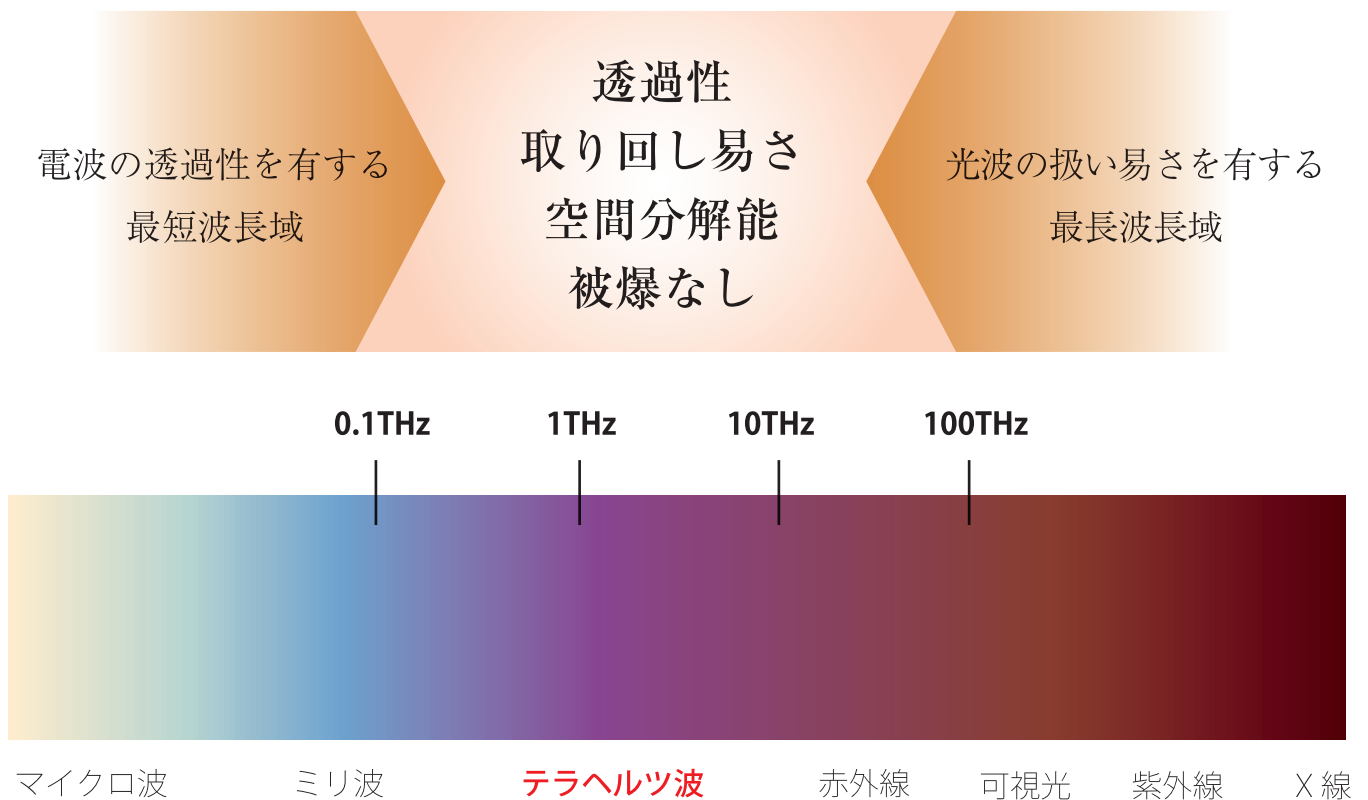


テラヘルツ波が個々の物質を共振させ、細かく分解します。

広がるテラヘルツ波の応用

テラヘルツ波は周波数が高く、波長が30マイクロ～1ミリメートルでサブミリ波とも呼ばれ、元々は高速通信向けに研究されていましたが、利用は進んでいませんでした。ところが最近ではテラヘルツ波の様々な効能が確認され世界中が注目し、例えばセキュリティー、医療・バイオ、農業・食品、非破壊検査、環境、超高速通信といった分野で活用され始めています。

THz - Wave



- 半導体・プラスチック・セラミックス・紙・ゴム・ビニール・木材
・繊維・乾燥食品・氷・粉体・試薬・錠剤・歯・骨・脂肪等を透過。

